

## 研究会記録

## 第二回チッソ労働運動史研究会記録

日時 2006年11月17日

場所 熊本学園大学水俣学現地研究センター（水俣市）  
2階セミナールーム

参加者 元チッソ労働者、新日窒労組元組合員

小形喜代太（1928年生まれ、1943年入社）

大戸迫輝夫（1929年生まれ、1946年入社）

松田 哲成（1929年生まれ、1948年入社）

徳永 常喜（1933年生まれ、1948年入社）

山下 善寛（1940年生まれ、1956年入社）

糸田 憲夫（1940年生まれ、1960年入社）

高橋 幸一（1941年生まれ、1957年入社）

山平 勝利（1944年生まれ、新日窒工学校を経て1962年入社）

花田 昌宣（熊本学園大学）

酒巻 政章（熊本学園大学）

富田 義典（佐賀大学）

田尻 雅美（熊本学園大学）

ここに収録するのは、チッソ労働運動史研究会の第二回の記録である。この研究会は、新日窒労組をはじめとする新日窒およびチッソにおける労働運動の歴史を記録し、その意味を考えていこうと呼びかけられたもので、退職労働者たちと研究者たちが議論する場として設けられた。経緯と課題に関しては、『水俣学研究』第2号を見られたい。

第二回目は2006年11月17日午後3時から始まり、二時間余り話を伺うこととなった。話しは多岐にわたるが、大学研究者側からの研究課題や問題点を示して、昭和20年代の労組の話をしようというのがこの日の主眼であった。研究課題に関する発言は、上記の前の記録に収録しているので、省略した。

年齢も組合活動の時期も異なるかたがたの話は、組合員にとっても新たな発見があるだけでなく、資料の上からは読み取れない貴重な記録といえよう。元組合員たちの発言は、地元の言葉で語られており、可能な限り尊重して収録した。ただし、文字になった際には、理解できない表現もあり、発言の意図を損なわないように配慮して、書き換えた部分もある。登場する人名に関しては、正確を期すよう山下善寛氏、山平勝利氏に確認をしていただいたがなお、不正確なところが残っているかもしれない。

なお、読者の便宜を図るために、今回の記録に関わる限りでの参考年表を文末に掲載した。